
つれづれ（7）課題1.近況報告

土堀 友

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

つれづれ（7） 課題1・近況報告

【Nコード】

N8772N

【作者名】

土堀 友

【あらすじ】

親しい人に近況を伝えるという課題です。

故郷にいる架空の友人に手紙を書いてみました。

課題1 「親しい人に近況を伝える」

暑い日が続いておりますが、ふと秋風が立つと妙に人恋しくて故郷が懐かしく感じられます。ご無沙汰しておりますが、元気にお過ごしのことと推察申し上げます。

さて、初めてのことですが、私は最近童話を書いています。新聞に投稿する予定ですが、掲載されるのは優秀作品一点のみです。今は書く事を楽しみとして、投稿は度胸試しのつもりです。飽きっぽい性格ですのでいつまで続くか分かりませんが、趣味として定着すればよいと思っています。

九月の文学講座は中城ふみ子と大塚陽子の現代短歌でした。三十代で他界したふみ子と長命だった陽子、多くの男性を愛したふみ子と一途な陽子、歌壇のスターふみ子とその陰に隠れた陽子。二人の歌と人生を対比する形で解説がありました。

恋の焰に包まれて、炎々と燃え盛る二人の生きざまから、正にこの二人は「肉食系女子」と呼ぶにふさわしく、私のような「草食系男子」は、木陰に隠れてただ怯えているだけというようなイメージです。

大塚陽子のうた

夫も子も帰るべき家もないやうなそんな心に見る遠花火

七月生まれわれはひまわり陽を追ひて陽に向きて七月のわれはひまわり

中城ふみ子のうた

貴重なる愛を秤にかけらると露アラはにされし身が火照りホテつつ

死後のわれは身かろくどこへも現れむたとへばきみの肩にも乗りて

私も短歌を作ってみました

あなたへのみやげ話は童話集むかしむかしとページめくりて
きみが読むおとぎ話がなつかしく墓掃除して明日彼岸入り

時節柄お体ご自愛ください。

乱筆にて失礼いたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8772n/>

つれづれ（7）課題1.近況報告

2010年10月10日08時10分発行